

**施策体系シート(行政経営Bシート)**

作成者	組織	誘客戦略課	職	課長	氏名	中山 隆志
評価者	組織	誘客戦略課	職	課長	氏名	鈴木 繁浩

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,899 (R1)	13,252 (R2)	D

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価			
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性		
					(年度)	(年度)								
施策1	課題1	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,899 (R1)	13,252 (R2)	1	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	観光客全般	8,000	8,000	—	継続
								2	コンベンション誘致推進事業費	観光客全般	50,000	320	C	見直し
								3	教育旅行誘致推進事業費	観光客全般	6,000	5,991	A	継続
	課題2	石川ならではの魅力の発信	3大都市圏からの入り込み客数	千人	13,000 (R7)	8,793 (R1)	4,667 (R2)	1	西日本誘客推進事業費	関西・中京圏観光客	21,800	3,862	C	見直し
								2	いしかわ観光コンシェルジュ配置支援事業費	三大都市圏観光客	11,000	16,585	B	拡大
								再掲	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	観光客全般	8,000	8,000	—	継続
								1	誘客プロモーション事業費	観光客全般	15,000	4,100	B	見直し
課題3	広域連携による県域を越えた周遊観光の促進	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,899 (R1)	13,252 (R2)	1	JR連携誘客キャンペーン事業費	観光客全般	11,500	11,500	B	継続	

※人数については暦年の数値である

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 ほとと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	事業開始年度 H28	事業終了予定年度	作 組 織 誘客戦略課
	根拠法令・計画等	ほとと石川観光プラン2016	成 職・氏名 主任主事 金谷 和樹 者 電話番号 076 - 225 - 1537 内線 3944

<事業の背景及び目的>  
 平成28年3月に策定した「ほとと石川観光プラン2016」に基づき、(公社)石川県観光連盟がほとと石川観光プラン推進ファンドを活用して実施する北陸新幹線金沢開業効果の持続・発展に向けた国内誘客に向けたプロモーション活動の円滑な実施のため、資金繰りに必要な資金の貸し付けを行う。

- <事業の概要>
- 1 貸付額 8,000千円
  - 2 貸付先 (公社)石川県観光連盟

- 【参考】ほとと石川観光プラン推進ファンドを活用した事業内容
- 国内誘客に向けたプロモーション活動
    - (1)観光物産展「いしかわ百万石物語展」の開催
    - (2)石川県観光ブランドプロデューサー活動費 など

施策・課題の状況					
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	評価	D		
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大				
指標	観光入り込み客数	単位	千人		
目標値	現状値				
令和7年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
30,000	24,588	24,753	24,915	24,899	13,252

事業費						
(単位:千円)		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費	予算	51,000	10,000	6,500	8,000	8,000
	決算	51,000	10,000	6,500	8,000	8,000
一般財源	予算	0	0	0	0	0
	決算	0	0	0	0	0
事業費累計		51,000	61,000	67,500	75,500	83,500

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	—	新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどの事業が執行できなかったため、評価は困難
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	北陸新幹線金沢開業効果を持続・発展させるため、百貨店・大手企業等での観光物産展による誘客プロモーションなど、引き続き、(公社)石川県観光連盟が実施する事業に対し必要な資金の貸し付けを行う。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	コンベンション誘致推進事業費	事業開始年度	H29	事業終了予定年度	
		根拠法令	ほっと石川観光プラン2016		
		・計画等			

作成者	組織	誘客戦略課			
	職・氏名	主事 越村 日咲			
	電話番号	076 - 225 - 1537 内線 3944			

<事業の背景及び目的>  
県内で開催されるコンベンションに対して、開催に要する経費の一部を補助し、県外からの誘客を促進する。

<事業の概要>

支給対象	学会、大会、会議 ※展示会、スポーツ大会、コンクール、イベント、コンサートは対象外
支給条件	人数 <b>県外参加者100人以上</b>
	規模 <b>北陸地域（石川県、富山県及び福井県）を超える規模のもの</b>
	会期 <b>連続する2日以上であること</b> ※会期にはコンベンション主催者が計画し、県内において実施する視察旅行を含む
その他	以下に該当するコンベンションは、補助対象外。 ①宗教活動、政治活動を目的とするもの。 ②営利を目的とするもの。 ③公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれのあるもの。 ④国又は地方公共団体が主催、或いは運営に関与するもの。 ⑤国又は地方公共団体から補助金等の交付を受けるもの。ただし、県内の自治体がこの要綱と同様の趣旨で交付する補助金を除く。 ⑥開催順序が予め定められている持ち回りのもの。 ⑦本県で連続開催されるもの。 ⑧その他補助金の交付が適当でないと認められるもの。
国際コンベンション要件	以下の3つの要件をすべて満たすこと。 ・外国人が20名以上参加すること ・参加者募集を日本国外に対しても行っていること ・開催地が複数国間で交代するものであること。或いは臨時的に1度きりの開催であること。
補助金額	① <b>基本補助（下記別表参照）</b> ② <b>バス補助</b> ：バス借上げ費用の1/3（上限100万円） ※県外参加者1,000人以上のコンベンションが対象。 ③ <b>加賀能登宿泊追加補助</b> ：1,000円/人（上限50万円） ※金沢市を主会場とする県外参加者1,000人以上のコンベンションで、加賀・能登エリアに宿泊する場合。ただし加賀・能登宿泊のためのバス助成を受ける場合は適用不可。

県外参加者数			国内			国際		
100人～199人	8	100	2,100人～2,199人	168		4,100人～4,199人	328	
200人～299人	16	140	2,200人～2,299人	176		4,200人～4,299人	336	
300人～399人	24	180	2,300人～2,399人	184		4,300人～4,399人	344	
400人～499人	32	220	2,400人～2,499人	192		4,400人～4,499人	352	
500人～599人	40	260	2,500人～2,599人	200		4,500人～4,599人	360	
600人～699人	48	300	2,600人～2,699人	208		4,600人～4,699人	368	
700人～799人	56	340	2,700人～2,799人	216		4,700人～4,799人	376	
800人～899人	64	380	2,800人～2,899人	224		4,800人～4,899人	384	
900人～999人	72	420	2,900人～2,999人	232		4,900人～4,999人	392	
1,000人～1,099人	80	460	3,000人～3,099人	240		5,000人以上	400	
1,100人～1,199人	88	500	3,100人～3,199人	248				
1,200人～1,299人	96	540	3,200人～3,299人	256				
1,300人～1,399人	104	580	3,300人～3,399人	264				
1,400人～1,499人	112	620	3,400人～3,499人	272				
1,500人～1,599人	120	660	3,500人～3,599人	280				
1,600人～1,699人	128	700	3,600人～3,699人	288				
1,700人～1,799人	136	(上限)	3,700人～3,799人	296				
1,800人～1,899人	144		3,800人～3,899人	304				
1,900人～1,999人	152		3,900人～3,999人	312				
2,000人～2,099人	160		4,000人～4,099人	320				

※収支が一致する額が交付限 (上限)

施策・課題の状況					
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	評価	D		
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大				
指標	観光入り込み客数	単位	千人		
目標値	現状値				
令和7年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
30,000	24,588	24,753	24,915	24,899	13,252

事業費					
(単位:千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費	予算	45,644	48,415	56,000	50,000
	決算	44,833	48,255	38,836	320
一般	予算	45,644	48,415	56,000	50,000
財源	決算	44,833	48,255	38,836	320
事業費累計	0	44,833	93,088	131,924	132,244

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)  今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	C	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、補助金交付実績が交付件数2件(R1:65件)、交付補助金額320千円(R1:38,836千円)と前年度を大きく下回ったものの、「コロナ禍におけるコンベンションの開催は多額の経費を要することから、補助金は非常に助かった」との声をいただいた。 また、金沢コンベンションビューローと連携し、県内関係団体・大学への誘致セールス(年22件)やオンラインによる学会誘致・支援説明会(年2回)、国際MICEエキスポ・オンラインへの出展など、アフターコロナも見据え、積極的な誘致活動に努めた。 その中で、コンベンション主催団体や運営事業者に新型コロナウイルス感染症の影響について聞き取りを行い、令和3年度に向けて補助金制度の見直しを検討した。
	見直し	新型コロナウイルス感染症の影響により減少するコンベンションの現地開催件数と参加人数の確保と、自治体間競争の激化の課題に対応するため、いしかわコンベンション誘致推進事業補助金の見直しを行う。 <見直しの内容(令和3年度～コロナ終息まで)> ①基礎補助対象参加人数を100人から50人に引き下げ ②感染症拡大防止に係る経費補助の加算 改正後の補助金制度の活用を促進し、県内で開催されるコンベンションの誘致を図るとともに、引き続き、(公財)金沢コンベンションビューローと連携したPRの実施など誘致活動に取り組む。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 教育旅行誘致推進事業費	事業開始年度 H15	事業終了予定年度	作 組 織 誘客戦略課
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016	成 職・氏名 専門員 六田 雄介 者 電話番号 076 - 225 - 1537 内線 3943

<事業の背景及び目的>  
北陸新幹線開業を契機に全国的な注目度が高まっている中、将来の石川ファン拡大に繋がる取り組みとして、教育旅行誘致を重点事業の一つに位置付け、戦略的な誘致活動の展開を図る。

- <事業の概要>
- (1) 誘致活動
- ① 三大都市圏の学校、旅行会社の訪問
  - ② 現地視察会の開催
  - ③ 教育旅行誘致資料の作成(ダイジェスト版の作成)
  - ④ 北陸三県で連携した誘致活動の実施(首都圏での旅行会社向け説明会・商談会等)  
→新型コロナウイルスの影響により一部中止
  - ⑤ 関西圏での旅行会社向け説明会・商談会の実施  
→新型コロナウイルスの影響によりオンラインのみで実施
- (2) 修学旅行誘致戦略マネージャーの配置  
北陸新幹線を利用する修学旅行の誘致強化に向け、修学旅行に関する専門的な知識や経験を有し、旅行会社や学校等との人的ネットワークを持つ旅行会社OBを東日本誘客推進室に配置
- (3) 受入体制の強化
- ① 宿泊施設向け受入研修会の開催
  - ② 首都圏大手旅行会社教育旅行担当者による現地視察会の実施  
→新型コロナウイルスの影響により中止
  - ③ 新たな教育旅行向けプログラムの開発(意見交換会の実施等)  
→新型コロナウイルスの影響により中止

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	評価	D			
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大					
	指標	観光入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	30,000	24,588	24,753	24,915	24,899	13,252
事業費						
	(単位:千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費	予算	2,000	4,000	7,000	6,000	6,000
	決算	2,000	4,000	7,000	5,460	5,991
一般財源	予算	2,000	2,000	3,500	3,000	3,000
	決算	2,000	2,000	3,500	2,730	2,995
事業費累計		15,800	19,800	26,800	32,260	38,251
評価						
	項目	評価	左記の評価の理由			
	事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	A	新型コロナウイルス感染症の影響により旅行先を本県に変更する学校の増加に加え、修学旅行誘致戦略マネージャー等による三大都市圏の学校、旅行会社への訪問やオンラインでの説明会・商談会など積極的な誘致活動を実施したことにより、令和2年度の修学旅行の受入れ実績は、三大都市圏から過去最多となる89校(R1:68校)が来県し、成果を上げている。			
	今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	北陸新幹線の県内全線開業も見据え、さらなる教育旅行の受入れ増のため、引き続き学校訪問等による誘致活動を展開するとともに、県内事業者等を対象とした研修会の開催等により受入体制を強化する。			

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 西日本誘客推進事業費	事業開始年度	H26	事業終了予定年度	
	根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作成者	組織	誘客戦略課
	職・氏名	専門員 寺西 奈々
	電話番号	076 - 225 - 1544 内線 3953

<事業の背景及び目的>  
 北陸新幹線開業により、全国的な注目を受けたことで、関西・中京圏からの入込客数は開業前を上回ってきたことから、令和6年春の県内全線開業を見据え、潜在需要喚起に取り組み、誘客拡大を図る必要がある。そのため、JRと北陸三県等が連携した通年でのキャンペーンに加え、JRと連携した県内全線開業を見据えた誘客プロモーションを展開するほか、大手私鉄グループ等と連携した誘客プロモーションの推進、マイカー利用者や団体旅行などのターゲットに応じた誘客の推進に取り組む。

- <事業の概要>
- (1) JR西日本グループ旅行会社(日本旅行)店舗での販促キャンペーンの実施
  - (2) マイカー利用者の誘客の推進  
NEXCOやJAF、大手自動車販売会社と連携した誘客・情報発信
  - (3) イベントを活用した情報発信  
百貨店等における観光物産展「いしかわ百万石物語展」の開催
- 「新型コロナウイルスの影響により事業中止」
- (1) 北陸新幹線金沢開業5周年誘客プロモーションの展開  
JR主要駅における波状的な誘客プロモーション  
実施時期: 令和2年秋  
    - ・主要駅(大阪・天王寺・京橋・三ノ宮(神戸))における観光PRキャラバンの実施
    - ・石川の魅力を伝える観光PRイベントの開催  
大阪駅での特産品の販売、出張石川観光デスクの設置など
  - (2) 大手私鉄グループ等と連携した誘客プロモーションの推進  
大手私鉄グループ等との連携による個人誘客(阪急阪神・名鉄・京阪・近鉄等)  
鉄道広告(駅、車内)、旅行商品造成、主要店舗における観光PRなど
  - (3) ターゲットに応じた誘客の推進  
    - ・東海北陸道沿線連携による観光PRイベント出展(NEXCO、岐阜県、富山県)
    - ・団体旅行セールスマン招へい、団体旅行商品造成の支援、周年企業の誘致
    - ・農協、信用金庫等大型団体の誘致
  - (4) イベントを活用した情報発信  
    - ・石川香川観光パートナーシップ協定に基づく合同PRイベント(大阪駅)の実施

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	評価	D			
課題	石川ならではの魅力の発信					
指標	3大都市圏からの入り込み客数				単位	千人
目標値	現状値					
令和7年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
13,000	9,011	8,877	8,919	8,793	4,667	

事業費					
(単位: 千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費	10,500	21,000	20,500	28,700	21,800
一般	0	10,500	10,250	14,350	10,900
財源	0	10,500	10,250	14,342	1,931
事業費累計	21,146	42,146	62,646	91,329	95,191

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	C	3大都市圏からの入り込み客数は大きく減少したものの、昨今では、マイカーを利用する旅行ニーズが高まっていることから、主にドライブ旅行をターゲットとして情報発信等を実施し、一定の旅行需要を喚起することができた。
今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	見直し	北陸新幹線県内全線開業も見据え、関西・中京圏からの更なる誘客の強化を図るため、引き続き、JR西日本グループとの連携による誘客や、交通事業者・大手旅行会社と連携した誘客キャンペーンを実施するとともに、昨今のマイカー旅行ニーズの高まりをとらえて、福井県と連携したマイカー利用者の誘客を図り、関西・中京圏等からの観光需要の回復につなげる。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわ観光コンシェルジュ配置支援事業費	事業開始年度	R1	事業終了予定年度	
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作	組	織	誘客戦略課		
成	職	氏名	主任主事 室野 美由紀		
者	電	話	番	号	076 - 225 - 1543 内線 3947

<事業の背景及び目的>  
 北陸新幹線金沢開業を機に高まった本県への旅行ニーズに対応するため、大手旅行会社と連携し、三大都市圏等の主要店舗の窓口に、本県への旅の魅力を紹介する担当者を「いしかわ観光コンシェルジュ」として配置し、店舗における本県観光情報の恒常的な発信強化と本県への誘客拡大に取り組む。

<事業の概要>

(1) 事業内容

- ・本県観光の積極的な情報発信と、旅行商品販売等による積極的な送客
- ・石川デスク(観光情報コーナー)の設置による通年PR及び、定期的な店頭PRイベントの実施
- ・コンシェルジュを対象とした本県視察研修の実施
- ・コンシェルジュによる社内研修の開催(他の販売員への水平展開)
- ・定期的な実績報告と、トレンドを踏まえた本県施策へCの提言

(2) 実施店舗

- ・首都10店舗(R1年度7店舗)、関西圏6店舗(R1年度4店舗)、中京圏3店舗(R2年度新設)、東北圏1店舗(R2年度新設) 計20店舗(R1年度11店舗)

(3) 配置人数

- ・各店舗1人 計20人

<これまでの見直し状況>

- ・実施店舗について、R1年度(事業開始年度)の11店舗から、R2年度には20店舗に倍増

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	D
課題	石川ならではの魅力の発信						
指標	3大都市圏からの入り込み客数					単位	千人
目標値	現状値						
令和7年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
13,000	9,011	8,877	8,919	8,793	4,667		
事業費							
(単位:千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
事業費	予算			6,000	11,000		
	決算			5,993	16,585		
一般財源	予算			3,000	5,500		
	決算			2,997	8,292		
事業費累計	0	0	0	5,993	22,578		
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	令和2年度は、首都圏及び関西圏における5店舗増加に加え、新たに東北圏1店舗及び中部圏3店舗にコンシェルジュを配置し、本県誘客の裾野拡大を図るとともに、各店舗で実施した県内研修等により、販売員の理解が深まり、店舗独自の石川県PR装飾や、来店客への本県観光情報の積極的PRにつながっている。 また、コンシェルジュ配置店舗への来店者からは、「石川デスクの情報をきっかけに石川県への旅行を決めた」という声があるなど、本県観光情報の充実について評価をいただいている。					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	拡大	令和3年度はコンシェルジュ設置店舗を25店に増加させるとともに、各店舗による販売促進事業の実施等の活動強化を図ることによって、より強力に本県観光情報の発信を図っていく。					

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 誘客プロモーション事業費	事業開始年度 H29	事業終了予定年度	作 組 織 誘客戦略課
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016	職・氏名 主事 越村 日咲 電話番号 076 - 225 - 1537 内線 3944

**<事業の背景及び目的>**

石川県観光PRマスコットキャラクター「ひやくまんさん」を活用し、三大都市圏等の重点エリアにおいて積極的にプロモーション活動を行い、本県への誘客を図る。

**<事業の概要>**

- (1) 観光PRイベント等への出演
  - ・県内外のイベント等に出演してプロモーション活動を実施
  - 新型コロナウイルスの影響により、出演回数が減少(R1:121回 → R2:51回)
- (2) ホームページを活用した情報発信
  - ・「ひやくまんさん」公式ホームページの維持管理
- (3) ノベルティグッズによるPR
  - ・「ひやくまんさん」のノベルティを作成し、県内外での観光PRに活用
- (4) 維持管理
  - ・「ひやくまんさん」の修繕等

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	D
課題	石川ならではの魅力の発信					
指標	観光入り込み客数				単位	千人
目標値	現状値					
令和7年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
30,000	24,588	24,753	24,915	24,899	13,252	
事業費						
(単位:千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費 予算		15,000	15,000	15,000	15,000	
事業費 決算		15,000	15,000	15,000	4,100	
一般 予算		15,000	15,000	15,000	15,000	
財源 決算		15,000	15,000	15,000	4,100	
事業費累計	0	15,000	30,000	45,000	49,100	
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	令和2年度当初、180回の出演依頼を見込んでいたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、ひやくまんさんの出演実績は51回(前年比:42.1%)と前年を大きく下回った。その一方で、現況での出演マニュアルを作成し、感染状況を注視しながら、可能な限り、高い認知度を活かしたプロモーションを実施した。				
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	見直し	引き続き、本県への誘客促進を図るため、「ひやくまんさん」を活用して県内外に向けた積極的な観光PRに取り組む。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面でのPRが困難となるため、PR動画の制作や、SNSによる情報発信など非接触型のPRを強化する。				

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	JR連携誘客キャンペーン事業費	事業開始年度	H29	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作成者	組織	誘客戦略課			
	職・氏名	専門員 佐々木 英雄			
	電話番号	076 - 225 - 1671 内線 3951			

<事業の背景及び目的>  
北陸新幹線の開業効果の持続・発展を図っていくため、JRと北陸三県等が連携し、年間を通じたキャンペーンを継続的に実施し、観光誘客の促進を図る。

- <事業の概要>
- (1) キャンペーン全体スケジュール  
 令和2年 4月～令和2年11月 「日本の美は、北陸にあり。」キャンペーン  
 令和2年12月～令和3年3月 ジャパニーズビューティ北陸キャンペーン
- (2) 事業内容
- ① 情報発信の強化
    - ・イベントにおける出向宣伝
    - ・季節毎のポスターやガイドブック等によるPR
    - ・北陸3県イラストマップの作成
  - ② 旅行会社施策の強化
    - ・大手旅行会社のプロジェクトチームによる商品開発
    - ・旅行会社店頭販促キャンペーンの実施

施策・課題の状況						
施策	<small>県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大</small>	評価	D			
課題	広域連携による県域を越えた周遊観光の促進					
	指標	観光入り込み客数	単位	千人		
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	30,000	24,588	24,753	24,915	24,899	13,252

事業費						
(単位:千円)		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費	予算		11,500	11,500	11,500	11,500
	決算		11,500	11,500	11,500	11,500
一般	予算		5,750	5,750	5,750	5,750
	決算		5,750	5,750	5,750	5,750
事業費累計		0	11,500	23,000	34,500	46,000

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、県全体の観光入込客数が前年比53.2%となったが、「日本の美は、北陸にあり」キャンペーンや「ジャパニーズビューティ北陸」キャンペーンを通年で実施するとともに、新たに「北陸新幹線5周年キャンペーン」の展開により、北陸への旅行喚起を図り、北陸ブランドの定着に努めた。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	2024年3月の北陸新幹線敦賀延伸をはじめ、今後北陸にとって節目となるトピックが続く中で、開業効果を持続・発展させていくため、引き続き、JRと北陸三県等が連携した通年キャンペーンを実施するとともに、新たに、WEBメディアを多角的に活用した情報発信に取り組むなど、観光誘客の促進を図る。